

(1)児童の体力の現状

○1年生では、男子の20mシャトルラン、立ち幅跳び、女子の反復横跳び、20mシャトルランが県平均よりやや高かった。
○2年生では、男子の反復横跳び、20mシャトルラン、女子の反復横跳び、20mシャトルランが県平均よりやや高かった。
○3年生では、男子の20mシャトルラン、立ち幅跳び、女子の反復横跳びが県平均よりやや高かった。
○4年生では、女子の反復横跳びが県平均よりやや高かった。
○5年生では、男女共、立ち幅跳びが県平均よりやや高かった。
○6年生では、男子の20mシャトルラン、立ち幅跳び、女子の20mシャトルランが県平均よりやや高かった。
●1年生では、男子の長座体前屈が県平均よりやや低かった。
●2年生では、男子の50m走が県平均よりやや低かった。
●3年生では、女子のソフトボール投げが県平均よりやや低かった。
●4年生では、男女共に握力、長座体前屈が県平均よりやや低かった。
●5年生では、男子がソフトボール投げ、女子が長座体前屈が県平均よりやや低かった。
●6年生では、男子の握力、長座体前屈、ソフトボール投げ、女子の握力が県平均よりやや低かった。

(2)30年度の具体目標の達成状況と課題

○総合評定でC段階以上の割合が今年度も80%を超えることができた。
○全学級で体幹を鍛えるためのエクササイズを毎朝行うことができた。除々に体幹が鍛えられてきたように思われる。
○「しんじっこマラソン」を行い、体力の向上を図ることができた。
○1、2年生を対象とした「運動好きな子どもを育てるための地域連携事業」の取組を行い、器械運動の基礎作りができた。
○「しんじっこマラソン」や「なわとびチャレンジデー」などを行い、体力向上への意識を高めることができた。
●体力向上に向けての取り組みを、委員会活動とリンクさせてもっと充実させなければならなかった。
●外遊びを奨励するような、呼びかけや取り組みをもっと行う必要があった。
●体力向上に向けて、保護者や地域への呼びかけがやや足りなかった。

(3)31年度の取組【対策】

①学校における取組

- ・「しんじっこマラソン」や「なわとびチャレンジデー」などを行い、体力向上への意識を高めていく。
- ・体育授業の公開授業や研修を行っていく。
- ・委員会活動とリンクさせて、体力向上に向けて新たな取り組みを行う。
- ・体幹を鍛えるエクササイズを引き続き行う。

②地域や家庭との連携による取組

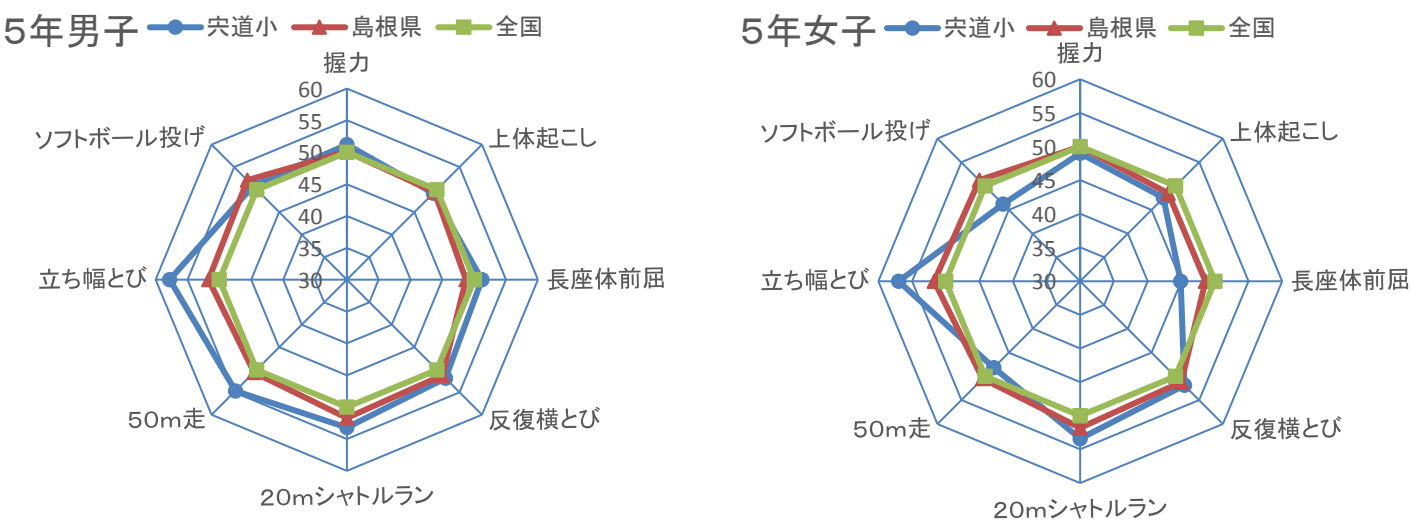
- ・学校での取り組みを活発に発信し、地域や家庭と連携して、体力向上の意義や取り組み方法などについて知ってもらう。

③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組

- ・保健や学級活動等の授業を通して、基本的な生活習慣の定着を図る。そして、その取り組みを発信して、家庭と連携を密にして活動を深めていく。

調査実施者数(人) 1年(男子18・女子14) 2年(男子17・女子30) 3年(男子16・女子32)
4年(男子28・女子24) 5年(男子23・女子25) 6年(男子16・女子22)

(4)5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 5年生意識調査の結果

(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)

